

Puremie (ピュアミエ) 空気清浄度モニター 取付要領書

発行: 2021 年 3月

© 2021 by DENSO CORPORATION All rights reserved. This material may not be reproduced or copied, in whole or in part, without the written permission of DENSO Corporation.

目次

1.	<u>はじ</u>	めに		7. 2	モニターが減光しない1-21
	1.1	本書・本製品について1-1	8.	配約	製図・仕様
2.	安全	上のご注意		8. 1	配線図1-22
	2. 1	表示の説明1-1		8. 2	仕様1-22
	2. 2	取り付け作業時の注意事項1-2			
	2. 3	ー般規格ボルト・ナットの 締め付けトルクについて1-3			
3.	取り	付け部品一覧			
	3. 1	キット構成部品1-4			
	3. 2	選択部品1-4			
4.	取り	付け概要			
	4. 1	取り付け概要図 ※JPN TAXI 1-6			
	4. 2	取り付け手順 ※JPN TAXI1-7			
5.	取り	付け要領			
	5. 1	車両脱着部品概要1-8			
	5. 2	ルーフヘッドライニング ASSY 裏 の配線1-9			
	5. 3	ブラケットの取り付け1-11			
	5. 4	ルーフヘッドライニング ASSY 裏 の固定およびステーの取り付け 1-13			
	5. 5	空気清浄度モニター本体 取り付け1-14			
	5. 6	B ピラー〜フロントシート下 の配線と固定1-16			
6.	最終	な取り付け確認・作動確認			
	6. 1	最終取り付け確認1-20			
	6. 2	作動確認1-20			
7.	<u>トラ</u>	ブルシュート			

7.1 モニターが点灯しない...... 1-21

1. はじめに

1.1 本書・本製品について

- 本書は、「空気清浄度モニター」の取付要領書です。取り付け前に必ずお読みいただき、正しい取り付けを してください。
- 本製品は、車室内の空気清浄度をインジケーターのレベル表示で確認できます。
- 空気清浄機と同時装着する場合は、別冊の空気清浄機取付要領書を参照して空気清浄機を先に取り付けてください。 ださい。その後、空気清浄度モニターを取り付けてください。

2. 安全上のご注意

2.1 表示の説明

● ここに示した注意事項は、作業者の方や他の人への危害、設備・財産などの損害を未然に防ぎ、安全に正し く作業していただくために、重要な内容を記載しています。表示と表示の意味をよく理解してから本文をよ く読んで、記載事項を守ってください。

表示	表示の意味
⚠警告	"取り扱いを誤った場合、作業者(運転者)が死亡または重傷* ¹ を負う危険が想定されること"を示します。
<u> </u>	"取り扱いを誤った場合、作業者が傷害*2を負う危険が想定されるか、または物 的損害の発生が想定されること"を示します。
0	"必ずしなければならないこと(指示事項)" を示しています。
	"してはいけないこと(禁止事項)"を示しています。
<注意>	記載事項を守らないと、本製品が破損したり、正常に動作しなかったり、性能を 発揮できないことを示します。
[参考]	知っておいていただきたい知識、知っておくと便利な知識を示します。
[アドバイス]	作業をする上で役立つ情報を示します。

*1:重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで、後遺症をもたらすものおよび治療に入院や長期の通院を要するものをさします。

*2:傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。

2.2 取り付け作業時の注意事項

♠ 警告

0

作業中は、作業着・帽子・安全靴・保護メガネなどを必ず着用してください。

・人体への保護ができず、頭部や目などに重傷を負うなど、事故の原因になります。

0

車両が動き出さないように、確実にパーキングブレーキを掛け、車輪止めをしてください。

・パーキングブレーキを掛けていないと、車両が動き出して作業者にぶつかるなど、事故の原因 になります。



他車の走行を阻害しない場所で作業してください。

・他車の走行を阻害した場合、事故の原因になります。



作業は、車両の電源を OFF およびバッテリーのマイナス端子をはずしてからしてください。

・感電や火災の原因になります。



本製品が振動で動いたり、はずれたりしないよう確実に固定してください。

・走行中に本製品がはずれ、事故の原因になります。



テープ類を使用する場合、貼り付け面の汚れ、油脂分、水分などを拭き取って使用してください。

・油脂分、水分などを拭き取らなかった場合、本製品が剥がれ落ち、事故の原因になります。



ハーネス類は、エアバッグハーネスと一緒に固定しないでください。

・車両部品の破損、事故の原因になります。



ハーネス類は、エッジに干渉しないよう配線してください。

・ハーネスが傷付き、火災、事故の原因になります。



ハーネス類は、可動部品や高熱部品に接触しないよう配線し、固定してください。

・可動部品や高熱部品に接触した場合、ハーネスが傷付き、火災、事故の原因になります。



コネクターのかん合をはずす際、ハーネスを引っ張らずにコネクターを持ってはずしてください。

・ハーネスが傷付き、火災、事故の原因になります。



車両部品の取りはずしは、必ず車両の整備解説書および修理書を確認の上、作業してください。

車両部品の破損、事故の原因になります。

! 注意



車両ブラケットなどのエッジ部付近で配線作業する際は、ケブラ手袋を着用してください。

ケガの原因になります。

<注意>

取り付け作業時に取りはずした車両部品は、部品ごとに整理し、傷付けないように取り扱ってください。

2.3 一般規格ボルト・ナットの締め付けトルクについて

- 締め付けトルクを規定している箇所は、必ず規定トルクで締め付けてください。
- 本文中に締め付けトルクを規定していない一般規格のボルトは、「一般規格ボルト締め付けトルク一覧」を 参照して締め付けてください。
- ナットの締め付けトルクは、取り付け相手のボルトから把握してください。

注意



8T ボルトを使用する箇所では、必ず8T以上のボルトを使用してください。

ボルトが折損します。

(1) 一般規格ボルト締め付けトルク一覧

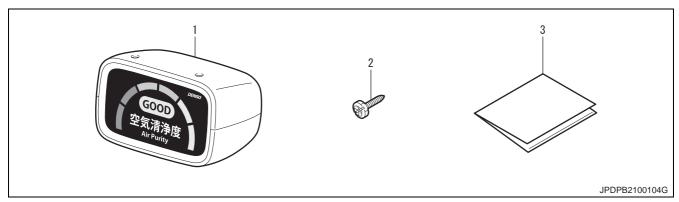


サイズ	締め付けトルク		
Ψ1 A	N · m	kgf⋅cm	
M3 ボルト	$0.6 \ (0.5 \sim 0.7)$	6 (5 ~ 7)	
M4 ボルト	1.5 $(1.2 \sim 1.8)$	15 (12 ~ 18)	
M5 ボルト	3.7 $(3.0 \sim 4.3)$	38 (31 ~ 44)	
M6 ボルト	5.0 $(4.0 \sim 6.0)$	51 (41 ~ 61)	
M8 ボルト	12.5 $(10.0 \sim 15.0)$	128 (102 \sim 153)	

3. 取り付け部品一覧

3.1 キット構成部品

(1) 本体キット (品番: 448007-7570)



No.	品名(サイズ・摘要)	品番	個数
1	空気清浄度モニター本体	017470-6580	1
2	本体固定用スクリュー (M5×L16)	949009-1980	5*1
3	取扱説明書(保証書付き)	245750-0030	1

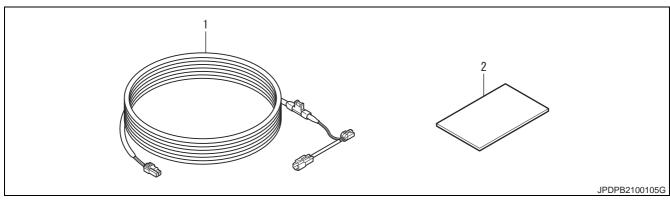
*1:予備を含みます。

*2:キット内には、以下の固定用部品が同梱されておりませんので取付作業店様にて事前準備されてから取り付けてください。

- ①ハーネス固定用バンドクランプ (結束バンド)
- ②ハーネス固定用テープまたはパッキン

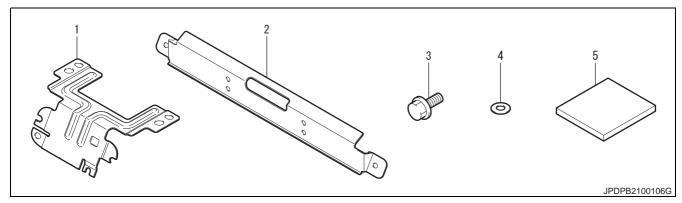
3.2 選択部品

(1) ハーネスキット「JPN TAXI 用」(品番: 448007-7890)



No.	品名	品番	個数
1	ハーネス	246510-1790	1
2	異音防止用パッキン	-	1

(2) ブラケットキット「JPN TAXI 用」(品番: 448007-7580)



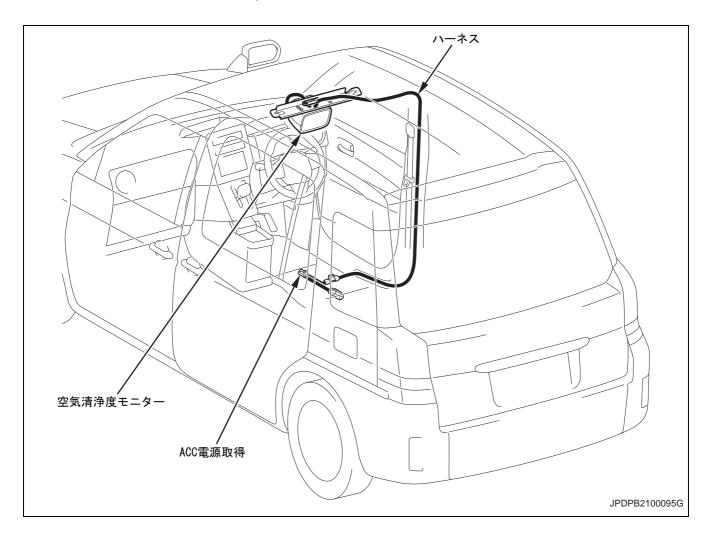
No.	品名(サイズ・摘要)	品番	個数
1	ステー	145640-1530	1
2	ブラケット	145640-1580	1
3	ボルト (M6×L16)	91790-06161	5*
4	ワッシャー (内径 5.3 mm× 外形 10.0 mm× 厚み 1.0 mm)	90200-05308	5*
5	パッキン (縦 80 mm× 横 80 mm× 厚み 3 mm)	146696-1080	1

^{*:}予備を含みます。

4. 取り付け概要

4.1 取り付け概要図 ※JPN TAXI

● 本製品は、JPN TAXI「匠(上級グレード)」に取り付けることができます。JPN TAXI「和(標準グレード)」には取り付けることができません。



4.2 取り付け手順 ※JPN TAXI

取り付け前の工具および固定用部品の準備

- ・ハーネス固定用バンドクランプ(結束バンド)
- ハーネス固定用テープ



車両脱着部品概要



取り付け作業

- ・ルーフヘッドライニングASSY裏の配線
- ブラケットの取り付け
- ・ルーフヘッドライニングASSY裏の固定およびステーの取り付け
- ・空気清浄度モニター本体取り付け
- ・Bピラー~フロントシート下の配線と固定



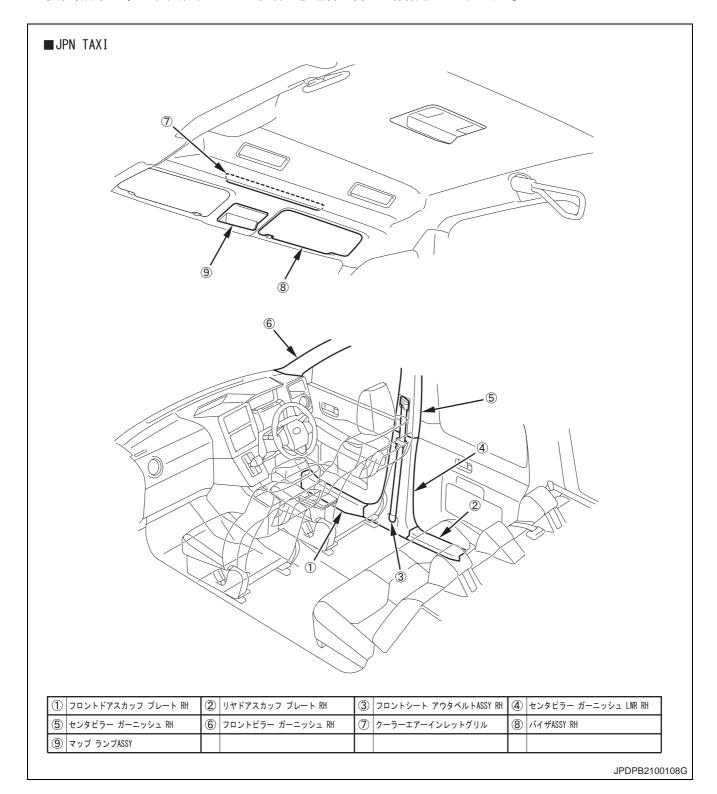
最終取り付け確認、作動確認

JPDPB2100124G

5. 取り付け要領

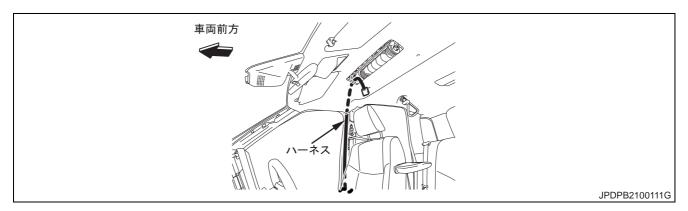
5.1 車両脱着部品概要

● 脱着方法は、必ず自動車メーカー発行の修理書に従って作業をしてください。



5.2 ルーフヘッドライニング ASSY 裏の配線

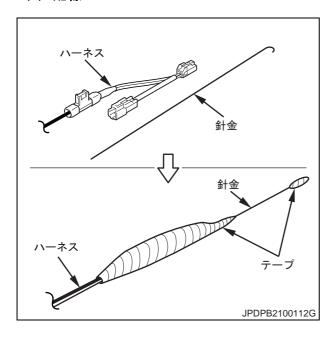
● 以下は、ルーフヘッドライニング ASSY 裏のハーネスの配線を示します。



<注意>

- ・配線作業時、ルーフヘッドライニング ASSY を無理に押し下げないように注意してください。 (ルーフヘッドライニング ASSY のしわや折れ目の原因になります。)
- ・天井サーキュレーターのファン部に触れないように注意してください。 (異音、故障の原因となります。)

(1) 配線

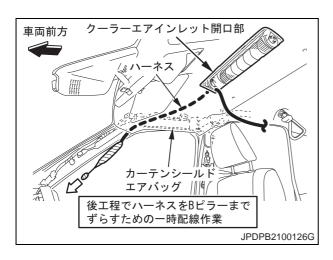


1) 針金をハーネスにテープで固定してください。

<注意>

針金の先端は、テープを巻いてエッジ保護をしてください。

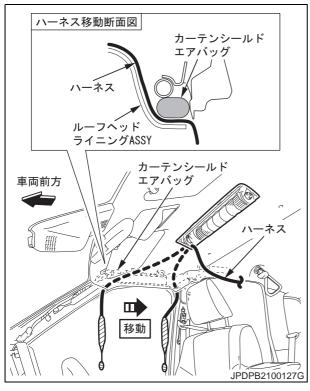
(車両部品に傷が付くおそれがあります。)



2) ハーネスをクーラーエアインレット開口部から運転 席側のフロントピラーに向かって通してください。

[参考]

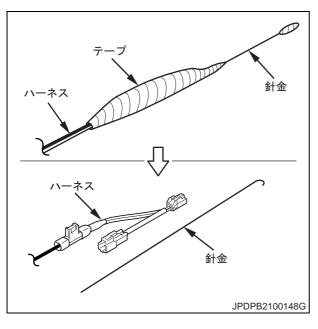
- ・針金を固定した側から差し込んでください。
- 後工程でハーネスをBピラーまでずらします。



3) ハーネスをカーテンシールドエアバッグの下側に通してBピラーまで移動させてください。

⚠ 警告

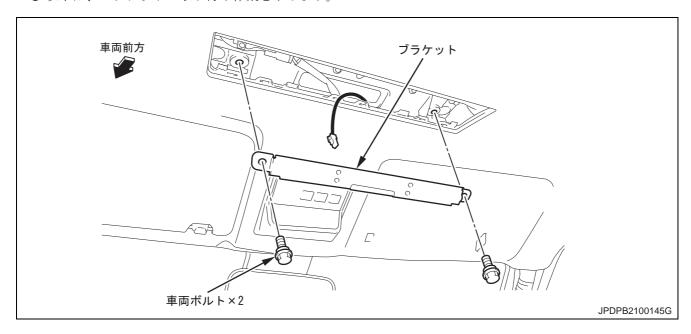
カーテンシールドエアバッグの展開に影響のない B ピラー位置までハーネスを確実に移動させてください。



4) 針金をハーネスから取りはずしてください。

5.3 ブラケットの取り付け

●以下は、ブラケットの取り付け作業を示します。

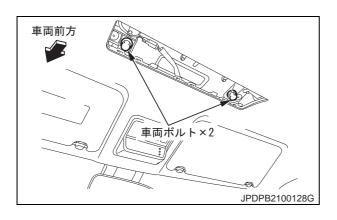


<注意>

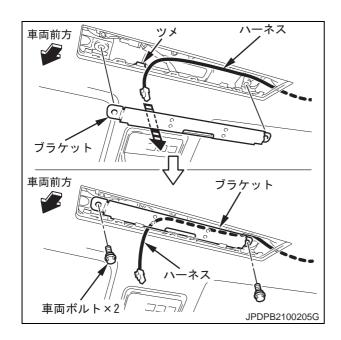
天井サーキュレーターのファン部に触れないように注意してください。

(異音、故障の原因となります。)

(1) ブラケットの取り付け



1) 天井サーキュレーター固定の車両ボルト 2 個を取り はずしてください。

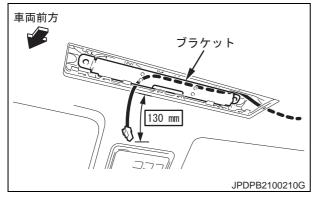


2) ハーネスをブラケットとルーフの間に通してください。

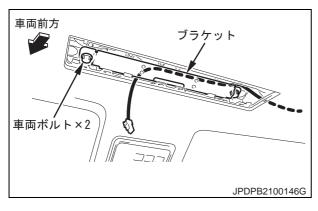
[参考]

ハーネスはツメの右側に通してください。

3) ブラケットを取りはずした天井サーキュレーター固定の車両ボルト2個で仮固定する。



4) ハーネスを図の寸法に合わせてください。



5) ブラケットを天井サーキュレーター固定の車両ボルト2個で本固定してください。

締め付けトルク

9.8 N·m

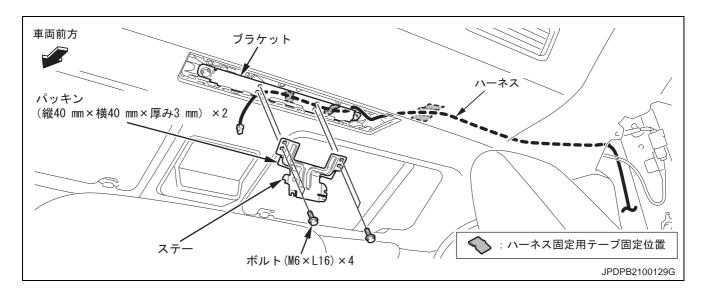
5.4 ルーフヘッドライニング ASSY 裏の固定およびステーの取り付け

● 以下は、ルーフヘッドライニング ASSY 裏のハーネスの固定およびステーの取り付けを示します。

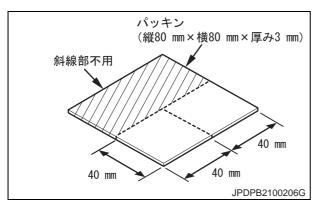
<注意>

- ・ハーネス固定作業時、ルーフヘッドライニング ASSY を無理に押し下げないように注意してください。 (ルーフヘッドライニング ASSY のしわや折れ目の原因になります。)
- ・ハーネス固定テープが剥がれないように、ルーフヘッドライニング ASSY 裏のハーネスを引っ張り、たる みのないようにしてください。

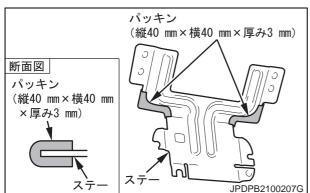
(テープの剥がれ、ハーネスのたるみがあると異音の原因となります。)



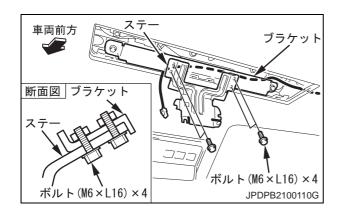
(1) ステーの組み付け



1) パッキン(縦 80 mm× 横 80 mm× 厚み 3 mm)を図の寸 法に合わせて、カットしてください。



- 2) 貼り付け位置のゴミ、ホコリ、油汚れなどを脱脂剤などで十分に脱脂してください。
- 3) カットしたパッキン(縦 40 mm×横 40 mm×厚み 3 mm)2 枚を図の位置に貼り付けてください。

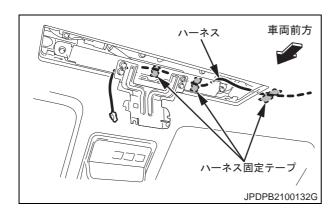


4) ステーのモニター取付部を下側にしてブラケットに ボルト (M6×L16) 4 個で固定してください。

締め付けトルク

 $6.0 \pm 1.2 \text{ N} \cdot \text{m}$

(2) ハーネスの固定



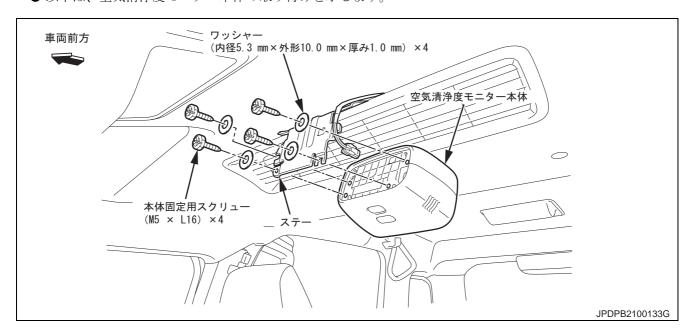
1) ハーネスをブラケットの裏側およびルーフヘッドラ イニング ASSY にハーネス固定テープで固定してくだ さい。

<注意>

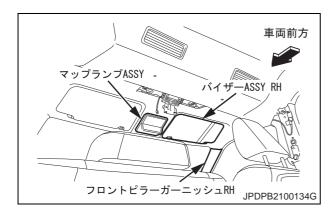
ハーネス固定テープが剥がれないように、ルーフ ヘッドライニング ASSY 裏のハーネスを引っ張り、 たるみがないようにしてください。テープの剥が れ、ハーネスのたるみがあると異音の原因となり ます。

5.5 空気清浄度モニター本体取り付け

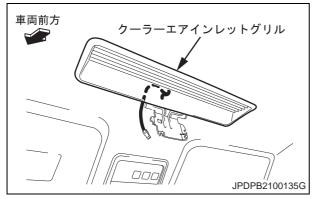
● 以下は、空気清浄度モニター本体の取り付けを示します。



(1) 空気清浄度モニター本体取り付け



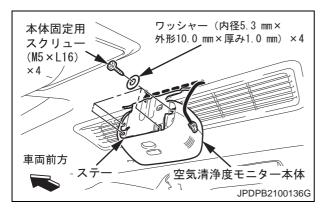
1) ルーフヘッドライニング ASSY にしわが入らないように、車両部品 (バイザーASSY RH、マップランプ ASSY、フロントピラーガーニッシュ RH) を復元してください。



2) クーラーエアインレットグリルを復元してください。

[参考]

クーラーエアインレットグリル中央下側のツメは ステーに引っ掛けます。



空気清浄度モニター本体

JPDPB2100137G

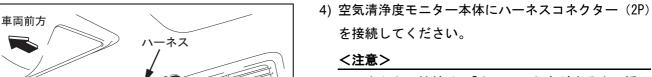
ハーネス

コネクター (2P)

3) 空気清浄度モニター本体をステーに本体固定用スク リュー (M5×L16) 4 本およびワッシャー (内径 5.3 mm× 外形 10.0 mm× 厚み 1.0 mm) 4 個で取り付けて ください。

締め付けトルク

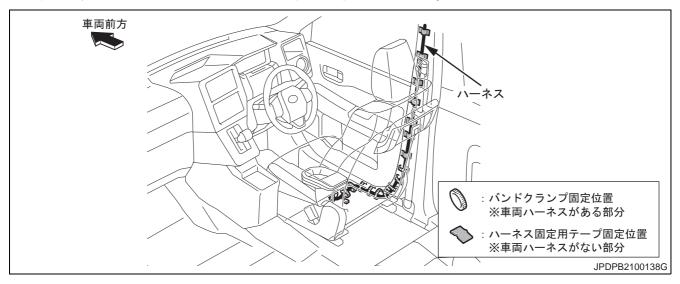
 $1.3 \pm 0.3 \text{ N} \cdot \text{m}$



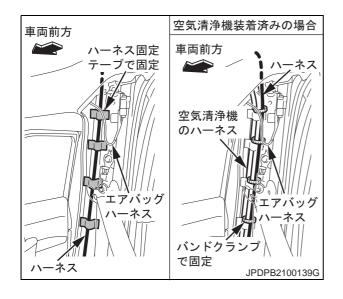
コネクター接続は、「カチッ」と音がするまで挿入 してください。

5.6 B ピラー~フロントシート下の配線と固定

● 以下は、Bピラー~フロントシート下の配線および固定を示します。



(1) 配線と固定 (B ピラー)



 車両前方
 空気清浄機装着済みの場合

 車両前方
 空気清浄機のハーネス

 のハーネス
 バンドクランプ

 プースス
 アープで固定

 JPDPB2100190G

1) ルーフヘッドライニング ASSY 裏から B ピラー立ち下 がり部のハーネスのたるみがないことを確認して B ピラー車両ボディーにハーネス固定テープで固定してください。

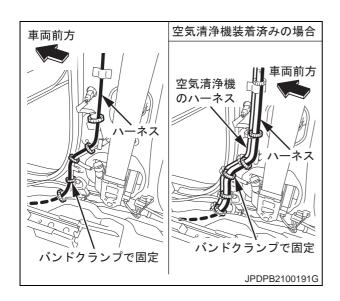
≜告

- ・エアバッグハーネスと固定しないでください。
- ・シートベルトと干渉させないでください。(シートベルトの摺動不良の原因となります。)

<注意>

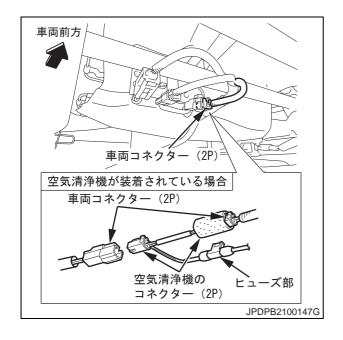
空気清浄機のハーネスが既に固定されている場合は、空気清浄機のハーネスにバンドクランプで固定してください。

2) B ピラー車両ボディーにハーネスをハーネス固定 テープまたはバンドクランプで固定してください。



3) 車両ハーネスに沿わせてハーネスをバンドクランプ で固定してください。

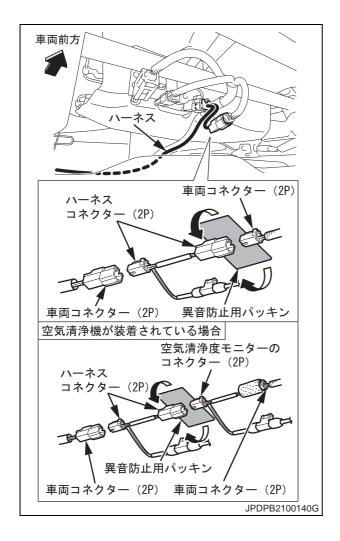
(2) 電源取得



1) 運転席シート下の車両コネクター (2P) の接続をはずしてください。

<注意>

空気清浄機のハーネスが既に接続されている場合 は、図の位置の接続をはずしてください。

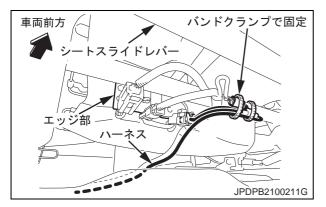


2) 接続をはずしたコネクター (2P) 間にハーネスコネクター (2P) を割り込ませて接続し、異音防止用パッキンを巻いてください。

<注意>

- ・空気清浄機のハーネスが既に装着されている場合 は、図の位置で接続してください。
- ・コネクター接続は、「カチッ」と音がするまで挿入 してください。

(3) ハーネスの配線と固定(フロントシート下)



車両前方
バンドクランプで固定
ハーネス
JPDPB2100192G

フロントシートのパイプにバンドクランプで固定してください。

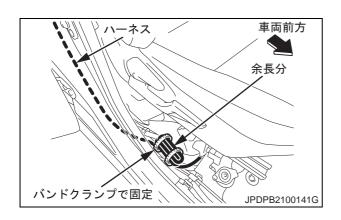
<注意>

- ・シートスライドレバーに固定しないように注意してください。
- ・シートのエッジ部に干渉しないように注意してください。
- 2) 車両ハーネスにバンドクランプで固定してください。

<注意>

フロントシートポジションを前後に移動させても 突っ張らないように調整してバンドクランプして ください。

(断線の原因となります。)



3) ハーネスの余長処理は、車両ハーネスにバンドクランプで固定してください。

6. 最終取り付け確認・作動確認

6.1 最終取り付け確認

1) 空気清浄度モニターおよび配線の取り付けに異常がないかを確認してください。

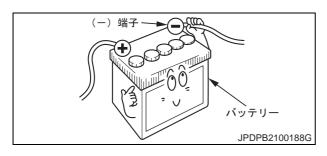
[参考]

ボルト類の締め忘れ、コネクター接続忘れ、ハーネス固定忘れなどを確認してください。

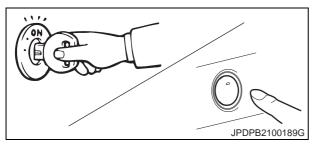
2) 取りはずした車両部品をすべて元通りに復元してください。

6.2 作動確認

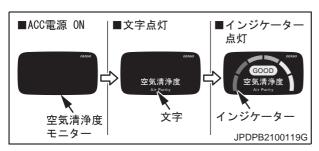
● 空気清浄度モニターの作動確認を実施します。



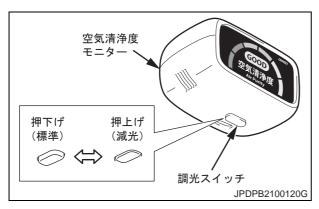
1) バッテリーの(一)端子を接続してください。



2) ACC 電源を入れてください。



3) ACC 電源 ON 後、約 10 秒で文字とインジケーターが点 灯することを確認してください。



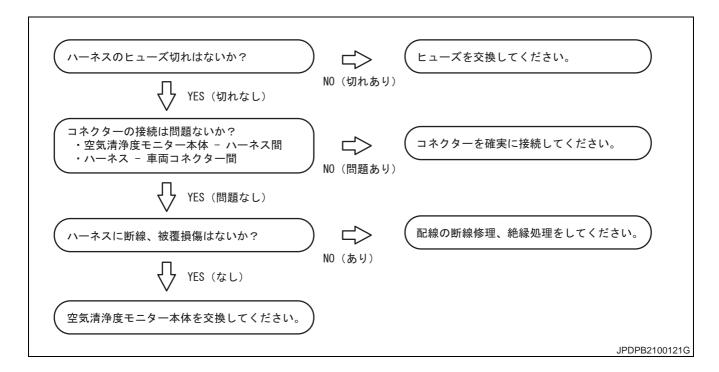
4) 調光スイッチを押し、モニターの輝度が変わることを確認してください。

調光スイッチの状態	輝度
押下げ	標準
押上げ	減光

7. トラブルシュート

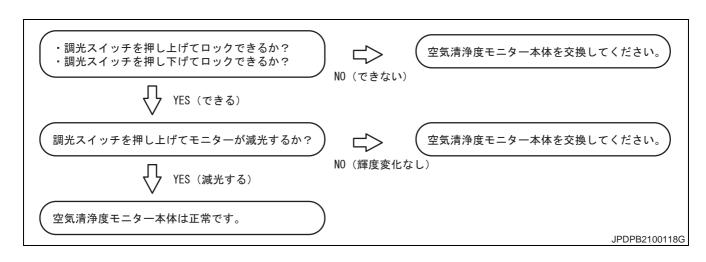
7.1 モニターが点灯しない

● ACC 電源を入れてもモニターが点灯しない場合は、以下を実施してください。



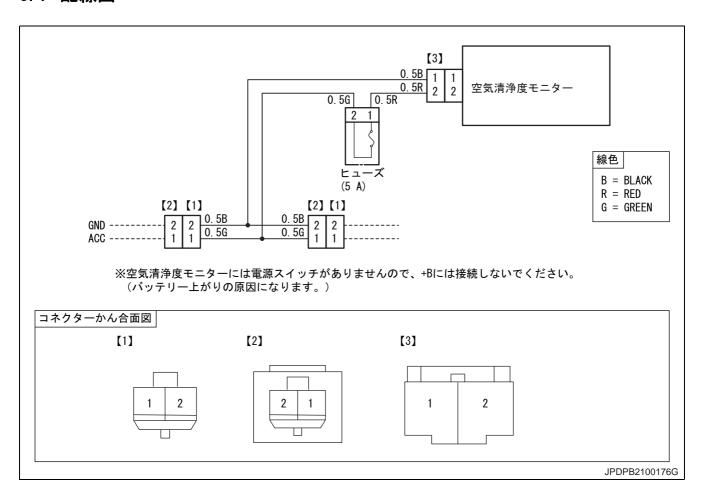
7.2 モニターが減光しない

● 調光スイッチを押し上げてもモニターが減光しない場合は、以下を実施してください。



8. 配線図・仕様

8.1 配線図



8.2 仕様

項目	規格
定格電圧	DC12 V
使用温度範囲	-20 ~ 60 °C
消費電力	3.6 W
検出粒子	0.3 \sim 2.5 μ m
本体寸法	135 (W) \times 80 (D) \times 80 (H) mm
本体重量	約 400 g

[※] 製品の仕様については、予告なく変更する場合があります。

